

日本列島出土細形銅剣の型式と鉛同位体比

The Forms and Lead Isotope Ratios of Narrow Bronze Swords
Excavated on the Japanese Archipelago

SHIMADZU Yoshiko

島津美子

はじめに

馬淵・平尾は、弥生時代の遺跡から出土した青銅製品について鉛同位体比分析を行い、^{多鈕細文鏡}鏡などが伝わった弥生時代中期前半から、漢式鏡が大量にもたらされた弥生時代中期後半へと移り変わる時期にかけて、青銅原料の産地が、朝鮮半島から将来された資料と同じもの（D 領域）から、中国華北のもの（A 領域、a 領域）へと変わっていったことを指摘した〔馬淵・平尾 1982a, 1982b, 1983, 1987〕（表 1；平尾・鈴木 1999）。

さらに、平尾・鈴木〔1999〕は、銅矛と銅戈は、原料産地の推移状況が銅鐸と同様に、弥生時代前期における細形の段階では D 領域（朝鮮半島からもたらされた青銅製品の原料の領域）に収まるのに対し、これと併行する時期の細形銅剣は、D 領域と A 領域の両者にまたがっており、製造地域が異なっていた可能性があることを指摘した。

表 1 銅鐸の型式と鉛同位体比領域（平尾・鈴木 1999 の図 26 を一部改変）

時代		銅鐸	鉛同位体比領域
弥生時代	前期後半	菱環鈕式	D 領域
	中期	外縁付鈕 1 式	D, A 領域
		外縁付鈕 2 式	A 領域
		扁平鈕 1 式	A 領域
		扁平鈕 2 式	A 領域
	後期	突線鈕 1 式	A, a 領域
		突線鈕 2 式	a 領域
		突線鈕 3 式	a 領域
		突線鈕 4 式	a 領域
		突線鈕 5 式	a 領域

その後、日本列島出土の細形銅剣に対する鉛同位体比分析のデータが蓄積されてきたので、状況を再確認するため、すでに鉛同位体比分析の行われている資料の分析値を収集した。本稿では、青銅器の形態と青銅原料の産地の関連性も考慮し、日本列島出土の細形銅剣およびその可能性のある一部の銅剣の情報とその鉛同位体比を既刊各書より抽出し、まとめた（表2および引用文献参照）。

1. 細形銅剣について

銅剣は、考古学的な型式から細形、中細形、中広形、平形に大別される。ここで対象とするのは、弥生時代中期に作られたと考えられる細形銅剣である。製作時期および型式分類は、基本的に柳田[2014]にまとめられているものにしたがった。

2. 細形銅剣にみる鉛同位体比と領域分布

まず、細形銅剣の出土地、および実測図の掲載出典を一覧とした（表2）。次いで、鉛同位体比が分析されている資料を抜き出し、出典において示されている使用時期順に、分析結果を再掲した（表3）。出土遺跡の時代区分にしたがい、弥生時代前期・中期初頭・中期前半・中期中頃・中期後半に分けて鉛同位体比を再プロットし（図1～5）、表3に鉛同位体比領域を示した。

なお、通番12の製作時期「B.C. 210～180」は国立歴史民俗博物館が提唱する弥生時代の年代観にあてはめて、「中期中頃」に含めた。「中期」はいずれにも含めなかった。

3. 考察

各図をみると、朝鮮半島からもたらされた青銅製品の原料の領域であるD領域、中国華北の原料が示すA領域の他に、華中から華北にかかる地域の原料が示すB領域に入る資料もあることがわかる。細形銅剣は、他の青銅製品と同じように、朝鮮半島や中国大陸から日本列島にもたらされた原料が使われたと考えられる。銅鐸、銅矛、銅戈には、ある程度限られた産地の原料を使っていたのに対し、細形銅剣は、B領域（華中～華北）に対応した原料の産地を含む、より広い範囲の地域の原料で作られたものも含まれていると推測される。

謝辞

資料収集にご協力いただきました、加藤千里氏、久永雅宏氏（筑波大学人文社会科学研究所歴史・人類学専攻博士前期）に感謝いたします。

表2 細形銅剣リスト

通番	出土県	出土地詳細	時期	形態 (長さ/cm)	形式分類	備考	図版出典		
							文献名	掲載頁	柳田2014
1	兵庫県	古津路14号(埋納)		全長37.6	BIa4大型				p.188, 図34-4
2	愛媛県	西番掛1号(埋納)		全長27.9	BIa2型				p.145, 図8-4
3	高知県	八田岩滝(埋納)		残存長37.1	BIa2型				p.145, 図8-5
4	山口県	下関市梶栗ノ浜石棺墓	中期後半	残存長21.9	BIb1型	東博番号 7221	下関市市史編修委員会編 2008『下関市史 原始-中世』	p.76, 写真10-3	p.146, 図9-5
5	岡山県	岡山市飽浦通称山本ノ辻(埋納)		全長32.4	BIa2型	東博番号 9851	東京国立博物館編2005 『東京国立博物館図版目録 弥生遺物篇(金属器)』	p.75	p.145, 図8-3
6	福岡県	福岡市比恵28号甕棺	中期前半	全長30.35, 重量204g	BIa3型		福岡市教育委員会編1986 『比恵遺跡』第6次調査・ 遺物編	p.34	p.142, 図5-1
7	福岡県	^(註1) 朝倉郡筑前町東小田峯遺跡376号甕棺	中期中頃				夜須町史編さん委員会編1991 『夜須町史』	p.187	
8	福岡県	筑紫野市隈・西小田第3地点109号甕棺	中期前半	全長34.7, 最大幅3.8			筑紫野市立歴史民俗資料館編 1988『弥生の地宝を掘る 筑紫野の首長墓と銅戈群』 筑紫野市史編さん委員会編 2001『筑紫野市史』	p.16 p.140	
9	福岡県	筑紫野市隈・西小田第2地点K-296内	中期中頃	残存長4.1		切先のみ			p.334, 図5-3
10	福岡県	筑紫野市隈・西小田第5地点K-10内				切先のみ	[鉛同位体比データのみ]		
11	福岡県	^{ほしい} 田川市糠上の原遺跡					[鉛同位体比データのみ]		
12	福岡県	小郡市三沢北牟田遺跡12号木棺墓	B.C. 210 ~180	残存長5.1, 折損部復元 幅2.4		切先のみ 出土	福岡県教育委員会編1979 『九州縦貫自動車道関係埋蔵 文化財調査報告(XXXI)』	p.26, Fig.15-2	
13	福岡県	糸島郡前原町向原(上町)	中期	現存長9.3	BIa型		柳田康雄1982	pp.36-38, Fig.5	
14	福岡県	福岡市西区飯盛第3次調査吉武高木 遺跡K-100号甕棺墓	中期初頭	全長29.5	BIa2型		福岡市教育委員会編1996 『吉武遺跡群Ⅷ』	p.38, Fig.33	p.140, 図3-2
15	福岡県	福岡市西区飯盛第3次調査桶渡遺跡 単独出土		全長30.2	BIa5型	先端欠失	同上	p.29, Fig.28	p.341, 図6-1
16	福岡県	福岡市西区飯盛第3次調査桶渡遺跡 K-75号甕棺墓	中期中頃	全長35.4	BIa4大型		同上	p.19, Fig.19	p.188, 図34-1
17	福岡県	福岡市西区飯盛第3次調査桶渡遺跡 K-77号甕棺墓	中期中頃	全長33.9	BIa2型		同上	p.22, Fig.22	p.141, 図4-2
18	福岡県	福岡市西区飯盛第1次調査吉武遺跡群 K-88号甕棺墓	前期末	残存長12.5		宇木及田 12号甕棺 出土品に 類似	福岡市教育委員会編1998 『吉武遺跡群X』	p.18, Fig.28	
19	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 K-115号甕棺墓	中期初頭	残存長29.9	BIa2型		福岡市教育委員会編1996 『吉武遺跡群Ⅷ』	p.53, Fig.47	p.140, 図3-3
20	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 K-116号甕棺墓	中期初頭	残存長25.2	BIb2型		同上	p.56, Fig.50	p.146, 図9-6
21	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 K-117号甕棺墓	中期初頭	全長35.3	BIa1型		同上	p.61, Fig.55	p.140, 図3-4
22	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 1号木棺墓	中期初頭	全長29.8	BIb1型		同上	p.69, fig.64	p.146, 図9-1
23	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 2号木棺墓	中期初頭	残存長29.1	BIa4型		同上	p.73, fig.69	p.140, 図3-1
24	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 3号木棺墓	中期初頭	全長33.5	BIa1型		同上	p.79, fig.74	p.139, 図2-4

表2 細形銅剣リスト (続き)

通番	出土県	出土地詳細	時期	形態 (長さ/cm)	形式分類	備考	図版出典		
							文献名	掲載頁	柳田2014
25	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡3号木棺墓	中期初頭	全長30.3	BIa5型		福岡市教育委員会編1996『吉武遺跡群Ⅶ』	p.79, fig.74	p.139, 図2-5
26	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡4号木棺墓	中期初頭	全長26			同上	p.88, fig.82	
27	福岡県	福岡市野方久保遺跡K-25号甕棺墓	中期前半	全長26	BIa2型				p.141, 図4-3
28	福岡県	福岡市野方久保遺跡K-5号甕棺墓	中期前半	残存長35.3	BIa4大型				p.188, 図34-2
29	福岡県	春日市春日原					(註2)		
30	福岡県	春日市須玖岡本15号甕棺	中期前半	全長32.5	BIa2型				p.142, 図5-3
31	福岡県	春日市須玖岡本遺跡		残存長33.4	BIa2型	東博番号36785	東京国立博物館編2005	p.119	p.142, 図5-2
32	福岡県	春日市須玖岡本遺跡D地点	中期中頃	残存長15.1		東博番号22936	東京国立博物館編2005	p.123	
33	福岡県	春日市須玖岡本遺跡D地点	中期中頃	残存長9.9		東博番号22939	東京国立博物館編2005	p.123	
34	福岡県	春日市須玖岡本遺跡B地点1号甕棺	中期中頃	残存長32.7	BIa4型				p.142, 図5-4
35	福岡県	板付田端遺跡墳丘墓	中期初頭	全長27.4	BIa2型	東博番号8355	東京国立博物館編2005	p.114	p.141, 図4-4
36	福岡県	板付田端遺跡甕棺墓	中期前半	残存長18.5	BIa1型	東博番号8356	東京国立博物館編2005	p.114	p.141, 図4-5
37	福岡県	板付田端遺跡	中期中頃	残存長29.9	BIa2型	東博番号8357	東京国立博物館編2005	p.114	p.141, 図4-6
38	福岡県	板付田端遺跡		残存長35.5		関から録にかけて研ぎ 東博番号8358	東京国立博物館編2005	p.115	
39	福岡県	福岡市今宿横浜遺跡14地点(土坑墓)				細形銅剣の再加工品	福岡市教育委員会編1981『今山・今宿遺跡』	p.9, Fig.8	
40	福岡県	井原赤崎遺跡	中期初頭	全長29	BIa1型	東博番号22935	東京国立博物館編2005 柳田康雄1982『糸島地方の弥生遺物拾遺』	p.128	p.139, 図2-2
41	福岡県	吉武大石遺跡K-51甕棺墓	中期初頭	全長31.6	BIa2型		福岡市立歴史資料館1986『早良王墓とその時代 陵墓が語る激動の弥生社会』	p.53, No.55	p.140, 図3-6
42	福岡県	糸島郡二丈町吉井		残存長27.1	BIa4型	東博番号36787	東京国立博物館編2005	p.128	p.139, 図2-1
43	福岡県	久米K-6甕棺墓	中期前半	残存長31.9	BIa2型				p.139, 図2-3
44	福岡県	吉武大石K-45甕棺墓	中期初頭	全長28.8	BIa2型				p.140, 図3-5
45	福岡県	吉武大石K-140甕棺墓	中期初頭	全長31.3	BIa1型				p.141, 図4-1
46	福岡県	高三猪塚東畑石棺墓		残存長28.1	BIa4型				p.142, 図5-6
47	福岡県	馬渡東ヶ浦E地区甕棺墓	中期初頭	残存長33	BIa2型				p.143, 図6-1
48	福岡県	馬渡東ヶ浦B地区甕棺墓	中期前半	残存長34	BIa2型				p.143, 図6-2
49	福岡県	久原4区		全長27.9	BIa4型				p.143, 図6-3
50	福岡県	田熊石畑3号墳	中期前半	全長27.6	BIa4型				p.143, 図6-4
51	福岡県	田熊石畑7号墳	中期前半	全長29.3	BIa4型				p.143, 図6-5

通番	出土県	出土地詳細	時期	形態 (長さ/cm)	形式分類	備考	図版出典		
							文献名	掲載頁	柳田 2014
52	福岡県	小倉城家老屋敷遺跡	中期前半	全長 36.1	BIa4型				p.143, 図 6-6
53	福岡県	^{たかみずま} 高三潆塚崎御廟塚		全長 39.2	B IV型				p.151, 図 11-4
54	佐賀県	三田川町目達原古墳群中瓢箪塚墳丘下 甕棺		全長 25.5			佐賀県教育委員会 1976 『佐賀県史跡名勝天然記念物 調査報告』上巻	p.712	
55	佐賀県	宇木汲田遺跡表採		全長 31.3			唐津湾周辺遺跡調査委員会編 1982『未慮國』(本文篇)	pp.299 -301	
56	佐賀県	宇木汲田遺跡表採		残存長 17.8			同上	pp.299 -301	
57	佐賀県	宇木汲田遺跡 K-6 号甕棺墓	中期前半	全長 32.6	BIa4型		同上	pp.299 -301	p.144, 図 7-1
58	佐賀県	宇木汲田遺跡 K-11 号甕棺墓	中期中頃	残存長 31.3	BIa2型		同上	pp.299 -301	p.144, 図 7-2
59	佐賀県	宇木汲田遺跡 K-12 号甕棺墓		全長 33.1			同上	pp.299 -301	
60	佐賀県	宇木汲田遺跡 K-18 号甕棺墓		残存長 26.5			同上	pp.299 -301	
61	佐賀県	宇木汲田遺跡 K-32 号甕棺墓		残存長 5.4			同上	pp.299 -301	
62	佐賀県	宇木汲田遺跡 K-61 号甕棺墓	中期前半	全長 33.8	BIa2型		同上	pp.299 -301	p.144, 図 7-3
63	佐賀県	宇木汲田遺跡 K-129 号甕棺墓		全長約 30			同上	pp.299 -301	
64	佐賀県	吉野ヶ里遺跡 SJ1005 甕棺墓	中期中頃	残存長 21.1	BIb4型				p.146, 図 9-2
65	佐賀県	吉野ヶ里遺跡 SJ1007 甕棺墓	中期中頃	残存長 30.6	BIa5型				p.188, 図 34-3
66	佐賀県	吉野ヶ里遺跡 SJ1009 甕棺墓	中期中頃	残存長 19.7	BIb1型				p.146, 図 9-3
67	佐賀県	吉野ヶ里遺跡 SJ1054 甕棺墓	中期中頃	全長 29.2	BIa2型				p.144, 図 7-4
68	佐賀県	吉野ヶ里遺跡 SJ1056 甕棺墓	中期中頃	残存長 30.1	BIa2型				p.144, 図 7-5
69	佐賀県	柚比本村 SP1100	中期前半	残存長 30.28	BIa4型				p.145, 図 8-1
70	佐賀県	切通遺跡 4 号甕棺墓	中期前半	全長 23.6	BIb2型	先端欠失			p.146, 図 9-4
71	佐賀県	柏崎遺跡甕棺墓	中期末	全長 48.7	BIa2型				p.152, 図 12-2
72	大分県	吹上遺跡 1 号木棺墓	中期中頃	全長 26.7 茎部長 2.4 身幅 3	BIa4型		日田市教育委員会 2006 『吹上IV-6 次調査の記録-』	p.53	p.145, 図 8-2
73	大分県	仲平遺跡 (採集)		残存長 31.7	BIa5型				p.142, 図 5-5
74	長崎県	タカマツノダン遺跡石棺墓		全長約 22.5			長崎県教育委員会 1974 『対馬 浅茅湾とその周辺の 考古学調査』	p.359	
75	長崎県	シゲノダン遺跡		全長 35.1	B IV型	先端欠失	九州大学文学部考古学研究 室編 1969『対馬』	p.8 第 7 図	p.151, 図 11-3
76	長崎県	サカドウ遺跡石棺墓		残存長 15.2	BIa4型				p.155, 図 14-2
77	福岡県	須玖岡本王墓		残存長 35					p.150, 図 10-4

表3 鉛同位体比結果一覽

通番	出土県	出土地詳細	時期	型式分類	$^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	鉛同位体比領域
18	福岡県	福岡市西区飯盛第1次調査吉武遺跡群 K-88号甕棺墓	前期末		0.7138	1.9074	22.836	16.300	43.557	D
14	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武高木遺跡 K-100号甕棺墓	中期初頭	BIa2型	0.7928	2.0373	20.010	15.864	40.766	D
19	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 K-115号甕棺墓	中期初頭	BIa2型	0.8461	2.1021	18.579	15.720	39.055	B
20	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 K-116号甕棺墓	中期初頭	BIb2型	0.8829	2.1723	17.607	15.545	38.248	A
21	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 K-117号甕棺墓	中期初頭	BIa1型	0.8534	2.1270	18.371	15.678	39.075	B
22	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 1号木棺墓	中期初頭	BIb1型	0.8890	2.1820	17.483	15.542	38.148	A
23	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 2号木棺墓	中期初頭	BIa4型	0.8498	2.1094	18.472	15.698	38.965	B
24	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 3号木棺墓	中期初頭	BIa1型	0.8261	2.0843	19.103	15.781	39.816	D
25	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 3号木棺墓	中期初頭	BIa5型	0.7623	1.9846	20.990	16.001	41.657	D
26	福岡県	福岡市西区飯盛第4次調査吉武遺跡 4号木棺墓	中期初頭		0.8826	2.1622	17.631	15.561	38.122	A
35	福岡県	板付田端遺跡墳丘墓	中期初頭	BIa2型	0.8438	2.1119	18.655	15.741	39.397	B
40	福岡県	井原赤崎遺跡	中期初頭	BIa1型	0.8544	2.1274	18.371	15.696	39.082	B
6	福岡県	福岡市比恵 28号甕棺	中期前半	BIa3型	0.8326	2.1027	18.874	15.714	39.686	D
8	福岡県	筑紫野市隈・西小田第3地点109号甕棺	中期前半		0.8807	2.1717	17.661	15.554	38.354	A
27	福岡県	福岡市野方久保遺跡 K-25号甕棺墓	中期前半	BIa2型	0.8269	2.0802	19.055	15.757	39.638	D
28	福岡県	福岡市野方久保遺跡 K-5号甕棺墓	中期前半	BIa4大型	0.8498	2.1164	18.444	15.674	39.035	B
30	福岡県	春日市須玖岡本 15号甕棺	中期前半	BIa2型	0.8207	2.0663	19.188	15.748	39.648	D
36	福岡県	板付田端遺跡甕棺墓	中期前半	BIa1型	0.8384	2.0832	18.727	15.701	39.012	D
72	大分県	吹上遺跡 1号木棺墓	中期中頃	BIa4型	0.8456	2.1033	18.559	15.693	39.035	B
7	福岡県	朝倉郡筑前町東小田峯遺跡 376号甕棺	中期中頃		0.8215	2.0727	19.203	15.775	39.802	D
16	福岡県	福岡市西区飯盛第3次調査桶渡遺跡 K-75号甕棺墓	中期中頃	BIa4大型	0.8826	2.1726	17.575	15.512	38.183	A
17	福岡県	福岡市西区飯盛第3次調査桶渡遺跡 K-77号甕棺墓	中期中頃	BIa2型	0.8631	2.1389	18.067	15.594	38.644	B
32	福岡県	春日市須玖岡本遺跡 D地点	中期中頃		0.8139	2.0691	19.418	15.804	40.178	D
33	福岡県	春日市須玖岡本遺跡 D地点	中期中頃		0.8133	2.0689	19.432	15.804	40.203	D
37	福岡県	板付田端遺跡	中期中頃	BIa2型	0.7915	1.9876	20.113	15.919	39.977	D
4	山口県	下関市梶栗ノ浜石棺墓	中期後半	BIb1型	0.7684	1.9829	20.830	16.006	41.304	D
12	福岡県	小郡市三沢北牟田遺跡 12号木棺墓	B.C. 210 ~180		0.8720	2.1478	17.977	15.676	38.611	A

通番	出土県	出土地詳細	時期	型式分類	$^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	鉛同位体比 領域
13	福岡県	糸島郡前原町向原（上町）	中期	BIa型	0.8008	2.0420	19.809	15.863	40.450	D
5	岡山県	岡山市鮑浦通称山本ノ辻（埋納）		BIa2型	0.8594	2.1198	18.147	15.596	38.468	B
9	福岡県	筑紫野市隈・西小田第2地点 K-296内	中期中頃		0.8008	2.0424	19.812	15.865	40.464	D
10	福岡県	筑紫野市隈・西小田第5地点 K-10内			0.8365	2.0906	18.778	15.708	39.257	D
11	福岡県	田川市糴上の原遺跡			0.7705	1.9962	20.792	16.020	41.505	D
15	福岡県	福岡市西区飯盛第3次調査桶渡遺跡 単独出土		BIa5型	0.8269	2.0870	19.047	15.750	39.751	D
29	福岡県	春日市春日原			0.7077	1.8148	23.180	16.404	42.067	D
31	福岡県	春日市須玖岡本遺跡		BIa2型	0.8360	2.0855	18.775	15.696	39.155	D
38	福岡県	板付田端遺跡			0.8372	2.0936	18.797	15.737	39.353	D
42	福岡県	糸島郡二丈町吉井		BIa4型	0.8406	2.1031	18.646	15.674	39.214	D
54	佐賀県	三田川町目達原古墳群中瓢箪塚墳丘下 甕棺			0.8355	2.0881	18.749	15.665	39.150	D
74	長崎県	タカマツノダン遺跡石棺墓			0.8738	2.1588	17.786	15.541	38.396	A

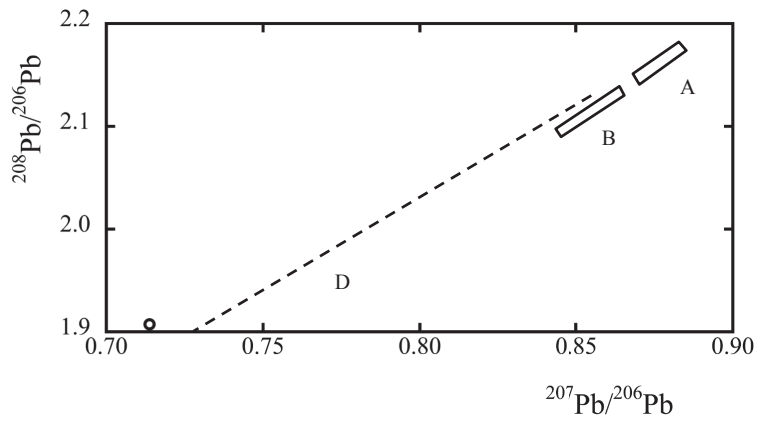


図1a 弥生時代前期遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (a式図)

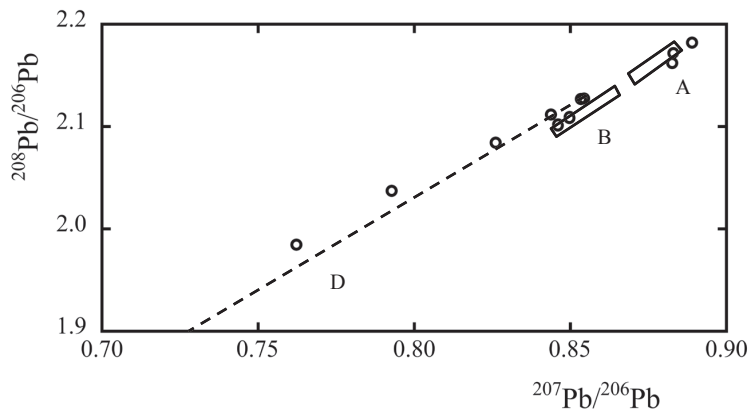


図2a 弥生時代中期初頭遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (a式図)

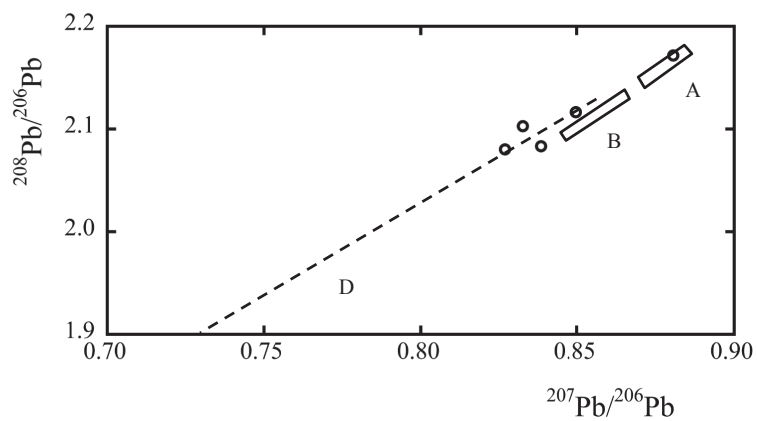


図3a 弥生時代中期前半遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (a式図)

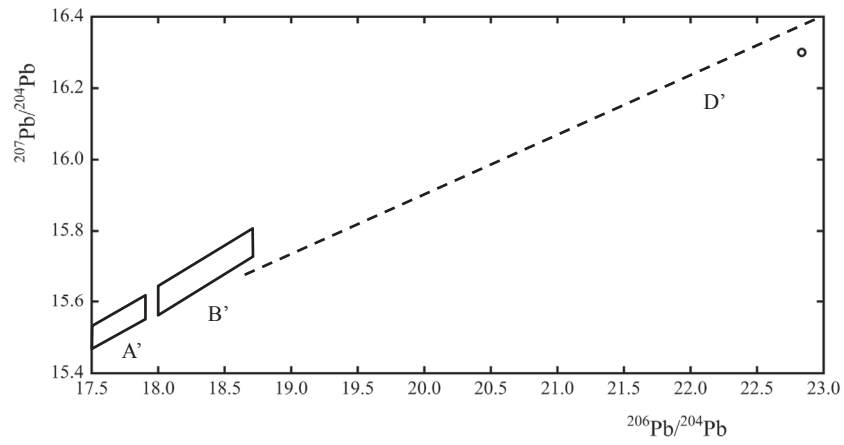


図 1b 弥生時代前期遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (b式図)

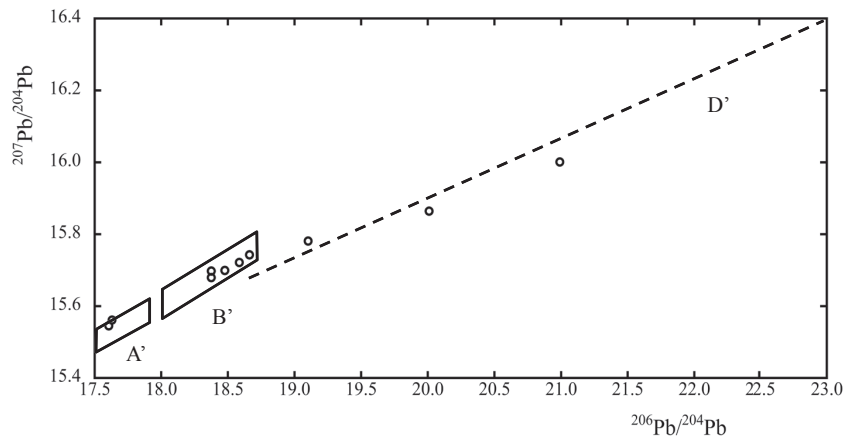


図 2b 弥生時代中期初頭遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (b式図)

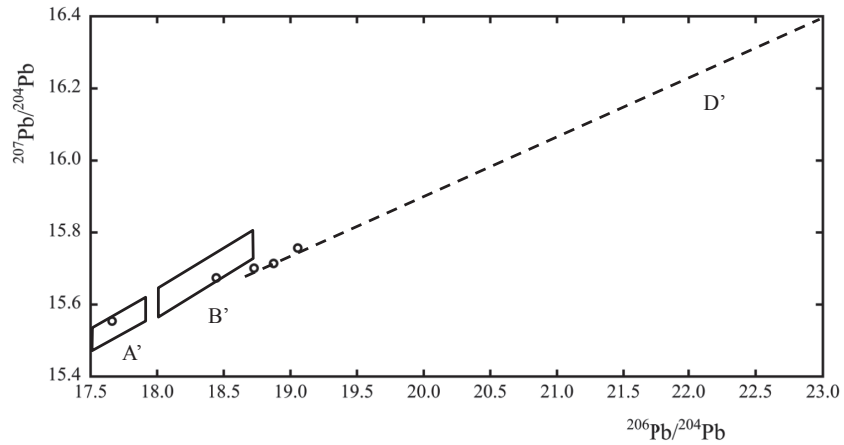


図 3b 弥生時代中期前半遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (b式図)

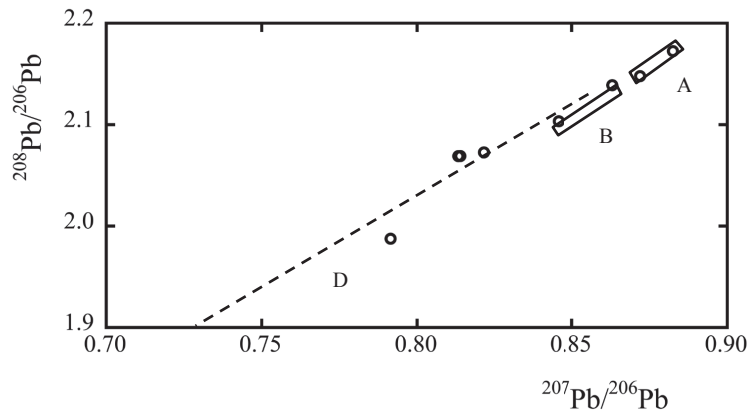


図4a 弥生時代中期中頃遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比（a式図）

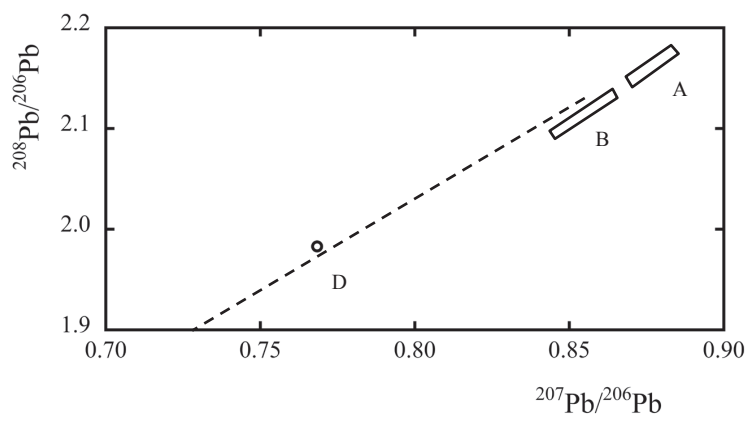


図5a 弥生時代中期後半遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比（a式図）

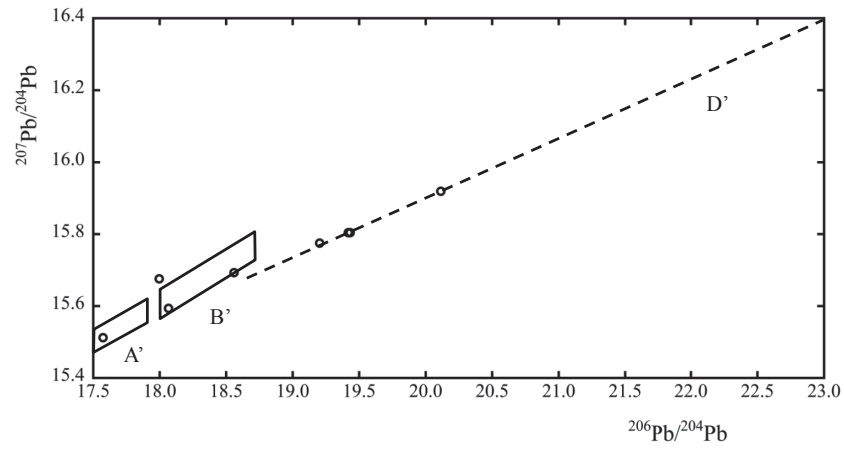


図 4b 弥生時代中期中頃遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (b式図)

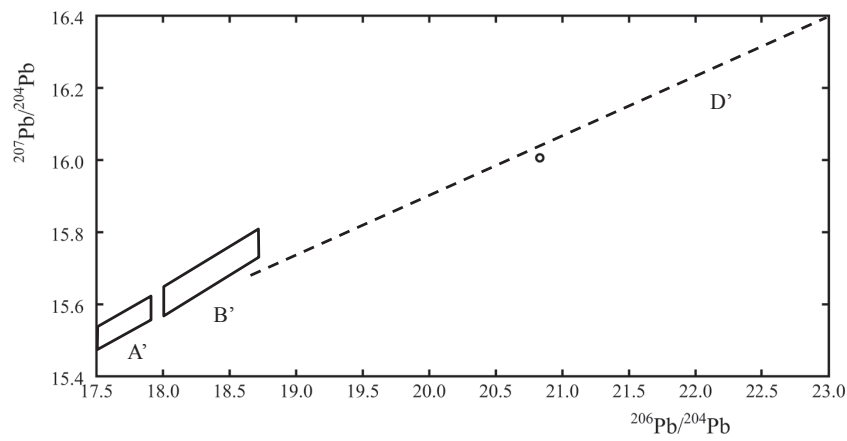


図 5b 弥生時代中期後半遺跡出土細形銅剣の鉛同位体比 (b式図)

註

- (1)——福岡県朝倉郡夜須町は、2005年の市町村合併により現在は筑前町となっている。
- (2)——柳田[1990]によれば、当該銅剣の形式は、中細形としながら細形の可能性にも言及している。鉛同位
- 体比分析を行った平尾[1995]は細形としているが、その後の柳田の著書[2014]においては明確な分類は記されていない。

引用文献

- 唐津湾周辺遺跡調査委員会編，1982.『末盧國』（本文篇），六興出版，754p.
- 九州大学文学部考古学研究室編 1969.『対馬』，対馬遺跡調査委員会，34p.
- 佐賀県教育委員会編，1976.『佐賀県史跡名勝天然記念物調査報告』（上巻），新潮社，832p.
- 下関市市史編修委員会編，2008.『下関市史 原始-中世』，下関市，744p.
- 下村智・二宮忠司，1990.「福岡市吉武遺跡群（飯盛・吉武地区）・野方久保遺跡・野方柳原台遺跡出土の青銅器」『考古学雑誌』75(4)，pp.421-432.
- 筑紫野市史編さん委員会編，2001.『筑紫野市史』，資料編（上）考古資料，筑紫野市，788p.
- 筑紫野市立歴史民俗資料館編，1988.『弥生の地宝を掘る 筑紫野の首長墓と銅戈群』，32p.
- 東京国立博物館編，2005.『東京国立博物館図版目録』，弥生遺物篇（金属器），中央公論美術出版，229p.
- 長崎県教育委員会編，1974.『対馬 浅茅湾とその周辺の考古学調査』.
- 日田市教育委員会，2006.『吹上Ⅳ-6次調査の記録-』.
- 平尾良光，1995.「鉛同位体比法による春日市出土青銅器の研究」『春日市史 上巻』（春日市史編さん委員会編），pp.860-901.
- 平尾良光・鈴木浩子，1999.「弥生時代青銅器と鉛同位体比」，『古代青銅の流通と鑄造』（平尾良光編），pp.163-208.
- 福岡県教育委員会編，1979.『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告（XXXI）小郡市三沢所在遺跡群の調査 中巻-弥生時代墳墓編-』，福岡県教育委員会，205p.
- 福岡市教育委員会編，1981.『今山・今宿遺跡-玄海自転車道建設に伴う遺跡の調査-』（福岡市埋蔵文化財調査報告書第75集），福岡市教育委員会，vi，61p.
- 福岡市教育委員会編，1986.『比恵遺跡』，第6次調査・遺物編（福岡市埋蔵文化財調査報告書；第130集），福岡市教育委員会，112p.
- 福岡市教育委員会編，1996.『吉武遺跡群Ⅷ』（福岡市埋蔵文化財調査報告書；第461集，飯盛・吉武圃場整備事業関係調査報告書2），福岡市教育委員会，150p.
- 福岡市教育委員会編，1998.『吉武遺跡群Ⅹ』（福岡市埋蔵文化財調査報告書；第580集，飯盛・吉武圃場整備事業関係調査報告書4），福岡市教育委員会，118p.
- 福岡市立歴史資料館，1986.『早良王墓とその時代 陵墓が語る激動の弥生社会』，福岡市立歴史資料館，160p.
- 馬淵久夫・平尾良光，1982a.「鉛同位体比からみた銅鐸の原料」『考古学雑誌』68(1)，pp.42-62.
- 馬淵久夫・平尾良光，1982b.「鉛同位体比法による漢式鏡の研究」『MUSEUM』370，pp.4-12.
- 馬淵久夫・平尾良光，1983.「鉛同位体比法による漢式鏡の研究（二）」『MUSEUM』382，pp.16-26.
- 馬淵久夫・平尾良光，1987.「東アジア鉛鉱石の鉛同位体比-青銅器との関連を中心に-」『考古学雑誌』73(2)，pp.71-117.
- 馬淵久夫・平尾良光，1990.「福岡県出土青銅器の鉛同位体比」『考古学雑誌』75(4)，pp.385-404.
- 夜須町史編さん委員会編，1991.『夜須町史』，夜須町，1030p.
- 柳田康雄，1982.「糸島地方の弥生遺物拾遺」『九州考古学』58，pp.28-40.
- 柳田康雄，1990.「鉛同位体比法による青銅器研究への期待」『考古学雑誌』75(4)，pp.405-420.
- 柳田康雄，2014.『日本・朝鮮半島の青銅武器研究』，雄山閣，391p.

（国立歴史民俗博物館研究部）

（2018年1月15日受付，2018年6月4日審査終了）